



広報

慈光

第106号

令和3年7月



笑顔が素敵な百寿のお二人です

編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



「新型コロナウイルスの現状」について

理事長 豊野 充

昨年1月に発生した「新型コロナウイルス」は瞬く間に全世界に広がりました。世界の感染者は1億7千万人、死者は370万人以上、国内の感染者は76万人以上、死者は1万3千人以上になりました。山形県内でも感染者が2千人に達し、死者は40人を超えました。昨年3月の第1波、7月に第2波、さらに今年1年の第3波では急激に拡大、5月の連休明けには第4波に襲われました。重症者は第3波、第4波で増加し医療体制は逼迫しています。

高齢者に重症者が多く、その致死率は50代で0.3%、60代1.3%、70代4.8%、80代13.2%となっています。重症化のリスク因子としては高齢者、悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧症などで高い傾向にあります。症状は、発熱、咳、筋肉痛、頭痛などです。また警戒しても疲労感、呼吸困難、関節痛、胸痛、咳などの後遺症を残すことがあります。PCR検査は鼻腔だけでなく唾液でも広く行われています。また重症化のサインとして、血中酸素濃度を測るパルスオキシメーターが活用されています。肺炎だけでなく血管炎から血栓ができ、脳梗塞や心筋梗塞の原因になるといわれます。最近はやり感染力の強い変異株（英国型やインド型）が猛威を振るっており、子供にも感染しやすいといわれます。

治療としては、酸素療法や人工呼吸、重症者には人工心肺装置（ECMO）が使われます。薬剤としてはレムデシビルなどの抗ウイルス薬、ステロイドなどの免疫抑制薬、ヘパリンなどの抗凝固薬が使われていますが、いまだに特效薬はありません。今一番有効なのは、予防としてのワクチン接種です。従来の弱毒化したウイルスを使うのは開発、製造に時間がかかるので、遺伝物質（mRNA）を使った免疫の仕組みを刺激する方法が開発され広く使われています（ファイザー社、モデルナ社など）。3〜4週間おきに2回接種が必要でその有効率は95%とされます。副反応として接種部位痛、発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛などが20〜70%の頻度で起きます。またアナフィラキシーショックの頻度は10万〜20万人に1人と言われます。ワクチン接種はあくまで本人の希望が優先されます。ワクチンを接種しない人への偏見や、不幸にして感染してしまった人への差別はやめましょう。

感染予防の原則は手洗い、マスク、3密（密閉、密集、密接）の回避、そしてワクチン接種であることに変わりありません。みんなの努力でこの危機を乗り越えましょう。

参考資料：「新型コロナウイルス感染症診療の手引き 第5版」

（2021年5月）

令和2年度 社会福祉法人長井福社会決算状況

資金収支計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日
(単位:円)

事業活動収入	1,104,962,352
事業活動支出	960,666,966
事業活動資金収支差額	144,295,386
施設整備等収入	3,088,000
施設整備等支出	51,675,964
施設整備等資金収支差額	△48,587,964
その他の活動収入	21,342,742
その他の活動支出	47,434,743
その他の活動資金収支差額	△26,092,001
予備費	0
当期資金収支差額合計	69,615,421
前期末支払資金残高	743,086,093
当期末支払資金残高	812,701,514

事業活動計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日
(単位:円)

サービス活動収益	1,088,194,011
サービス活動費用	1,018,098,275
サービス活動増減差額	70,095,736
サービス活動外収益	17,917,048
サービス活動外費用	3,200,562
サービス活動外増減差額	14,716,486
経常増減差額	84,812,222
特別収益	3,088,000
特別費用	3,088,007
特別増減差額	△7
当期活動増減差額	84,812,215
前期繰越活動増減差額	1,579,617,072
当期末繰越活動増減差額	1,664,429,287
その他の積立金積立額	30,000,000
次期繰越活動増減差額	1,634,429,287

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

流動資産	850,233,418	流動負債	99,902,589
		固定負債	318,695,688
		負債の部合計	418,598,277
		基本金	37,937,000
固定資産	2,310,479,224	国庫補助金等特別積立	408,948,078
		その他の積立金	660,800,000
		次期繰越活動増減差額	1,634,429,287
		純資産の部合計	2,742,114,365
資産の部合計	3,160,712,642	負債および純資産の部合計	3,160,712,642

※詳細はホームページまたは長井福社会事務所において閲覧等の方法により開示します。

令和3年度開園記念式典



令和3年6月17日(木)、開園記念式典を行いました。おかげ様で当法人は昭和59年の開設以来37周年を迎えることができました。式典では職員の永年勤続表彰と部署毎の研究発表の表彰を行いました。これからも当法人の理念である「ご利用者の人生の重みを受け止め、敬意を込めた介護」に努めてまいります。ご利用者並びにご家族をはじめ、地域の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

園内花観賞

園内には桜、つつじ、あやめの花を植えています。今年
は園内のお花を眺めながらお団子を食べて皆さん笑顔で
楽しませておりました。



満開だったね



きれいだなあ





ショートステイの活動紹介

ショートステイではご利用者に楽しんでいただけるようさまざまな活動に取り組んでいます。今回はごく一部ですが活動をご紹介します。

5月
下旬

畑 田植え



大きくなれよ



6月
下旬

お楽しみ 給食

おいしいね



きれいな
弁当だこと



父の日 母の日



いつも笑顔をありがとうございます。

～職員より～

ワクチン接種



4月、5月に理事長の豊野医師、副理事長の外田医師より入所者の方のコロナウイルスのワクチン接種を行いました。大きな副反応が出た方もおらず、まずは一安心といったところです。職員についても7月末に完了予定となっております。



令和2年度職員研究発表審査の結果

最優秀賞



MASK SMILE 😊

短期課

今般のコロナの影響で、感染予防の観点から常時マスクの装着が必須となっています。そんな中、部署職員が「私たちは常にマスクをしているが、ご利用者の方々に笑顔などの表情は届いているのか」と素朴な疑問が生まれました。このことが今回の研究の大きな動機につながり、マスク装着と笑顔について研究することになりました。実際笑顔の分析、聞き取りを行うと笑顔や声は予想以上にご利用者に届いていなかったことがわかりました。「笑顔が見えるマスク作り」ではご利用者の意見も聞きながら楽しく作成することが出来ました。「笑顔を伝えるには」とばかり考えていた私たちでしたが、安らぎある笑顔を与えてくれていたのは逆にご利用者の方であったことを今回の研究を通して感じたところです。

今後もコロナに負けずご利用者と一緒に笑顔で元気に過ごしていきます。

優秀賞



齢を重ねると、嚥む力や飲み込む力が徐々に弱くなってしまいます。食事中にむせてしまったり、食べ物が気管に入ってしまう危険性もあります。食べ物や飲み物にとろみをつけることで、食事中のむせや誤嚥を防ぐことができます。調理課では、ミキサー食に適したとろみの粘度を独自に計測し調理員全員が同じとろみ具合を共有できるように研究しました。とろみの粘度の計測は継続して行っており、現在もデータを収集しています。ご利用者の皆様に楽しく安心して食事を召し上がっていただけるようにこれからも質の向上に努めていきたいと思っております。

慈光園ご利用者の大多数はオムツや尿取りパットを使用しており、生活に欠かせないものになっています。年々オムツや尿取りパットの性質は改良されてはいますが、蒸れなどの不快感はゼロではなく完璧なものではありません。高齢になると大腸の機能の低下により排便コントロールが難しくなり、薬を使って排便を促すことが多く、排泄物が皮膚に接触することで皮膚に炎症が起きやすくなると考えられます。

実際に使用しているオムツと尿取りパットを職員が着用してご利用者がどのような思いをしているかを体験し、今までの排泄ケアにプラスして肌のケアを行いました。結果は少し軽減する程度でとどまり、炎症は無くすことは出来ませんでした。皮膚の弱い方のオムツ交換回数を増やしたり、個々の排泄パターン把握を継続して皮膚炎のリスク軽減を図ることが必要だと感じました。

これからも現状に満足せず、ご利用者の立場になって考え、ご利用者が快適に過ごせるよう、日々、より良い方法を検討していきたいと思っております。

佳作



～質の高い介護を目指して～

IAD(失禁関連皮膚炎)

介護課5棟

編集後記

コロナウイルスによる自粛生活が続く中で、初めての広報誌作成を担当。段取りも悪く無事に発行できるかとても不安でした。そんな中、規模を縮小した行事でもご利用者はとてもいい笑顔をお私たちに向けてくださり、本当に感謝しています。7月末には慈光園の大イベントである夏祭りが開催されます。こちらも規模を縮小した形での開催とはなりますが楽しんでいただけるよう精一杯取り組んでいきたいと思っております。



広報委員

◎青木千賀子 ○八木 珠美
梅津 千秋 小関 幸子
後藤めぐみ 船山 若菜
島貫 愛理 中村 佳苗
井上 史枝 古山 望
遠藤 順平